



第21回「Qの会」

研修会・総会報告

6月21日香川大学において「Qの会」平成27年度総会・第2研修会が開催されました。今回のテーマは、「糖尿病腎症患者の療養と自己決定支援」でした。

講師は、尚賢会高知高須病院教育看護部長 透析看護認定看護師 安井美恵先生をお迎えしました。ご講演では、腎臓の働きなど基礎知識から腎代替療法・腎代替療法選択・日常生活支援などの幅広い内容でした。また午後からは2題の事例検討を行いました。腎症療法選択や溢水による緊急透析導入など難しい事例でしたが、活発な意見交換ができ、今後の療養指導のつながりとなりました。総会では理事会事業・会計報告が行われ、平成27年度の事業計画予算案が可決されました。



研修会アンケート結果

第21回研修会参加人数43名のうち39名より回答をいただきました。参加したきっかけは「専門性を高めるため」「テーマに興味があった」「CDE単位取得のため」「看護実践において問題を解決するため」がほとんどでした。

講演講師については「おおいに良かった」「良かった」で100%でした。その理由は「腎症の基本を教えてもらえてよかった」「透析予防の支援方法として大変参考になった」「透析の現場で実際されている講師の話は興味深かった」という意見でした。

事例検討については「おおいに良かった」「まあまあ良かった」が90%でした。理由については「次の指導へつなげていくための言葉の力について考えることができた」「日常の支援を振り返るきっかけとなった」「同じ糖尿病療養指導士の意見交換の場になってよかった」という意見でした。

今後希望する研修のテーマとして、「慢性疾患患者への心理的サポート」「薬物療法」「糖尿病教室」「高齢者在宅支援」などの意見が寄せられました。

学会・研修会の案内

認定更新のための研修単位が取得できる予定の研修会をお知らせします。

★第20回日本糖尿病教育・看護学術集会・・・第1群または第2群 4単位

日時：2015年9月21日（月・祝）～22日（火・祝）  
場所：サンポートホール香川

連絡先：FAX 06・6350・7164

★日本糖尿病学会中国四国地方会第53回総会・・・第2群 4単位

日時：2015年10月30日（金）～31日（土）  
場所：米子コンベンションセンター

連絡先：FAX 0859・388・6519

★第18回日本腎不全看護学会学術集会・総会

日時：2015年11月14日（土）～15日（日）  
場所：名古屋国際会議場

連絡先：FAX 045・226・3092

★第30回日本糖尿病合併症学会・・・第2群 2単位

日時：2015年11月27日（金）～28日（土）  
場所：愛知県産業労働センター ウィンクあいち

連絡先：FAX 052・209・3252

「思い」が「重い」になる？

KKR高松病院 齋藤弘子

6月21日（日）に開催されたQの会第21回研修会に参加しました。テーマは「糖尿病腎症患者の療養と自己決定支援」で、尚賢会高知高須病院の透析看護認定看護師である安井美恵先生の講演と、2事例のグループディスカッションを行いました。講演では、糖尿病腎症の治療と病期別の療養支援を中心に学びました。腎症発症から透析に移行していく過程において、患者さんや家族の不安や思いを受け止めながら、患者さんが自ら目標を決めて実践できる目標を一緒に考えていくことが重要だと再認識することができました。グループディスカッションでは、緊急血液透析となった患者と腎症4期で腎代替療法を選択時期が迫っている患者に対する支援について参加者同士で意見交換を行い、自分たちが普段行っている看護について振り返ることも、自施設もしくは他施設を含めた医療者間での情報交換が重要であることを学びました。

今回の研修を通し、特に心に残ったことをひとつ紹介しますが、事例の中で「透析はしたくない」と患者さんが拒否したのですが、その原因となったのは看護師の「透析は怖い苦しい」という言葉でした。患者さんの立場であれば、怖い苦しいならしたくないと思うのは自然のことですが、なぜ看護師はそのような言葉を発したのでしょうか。決して患者さんを苦しめるために言ったのではなく、「患者さんにこれ以上悪くなってほしくない」という気持ちから言ったのではないかと思います。私も患者さんに対して、「このままだと合併症が進みますよ。そうならないように今頑張らなきゃ」と言ってしまうことがあります。ですが、患者さんはその言葉を聞くことによりかえって過剰な恐怖感を持つことがあるので、治療に対して否定的な言葉ではなく正しい知識を前向きな言葉で伝えることが、看護師の大切な役割なのだと気づくことができました。

私たちの良くなってほしいという「思い」が患者さんにとって「重い」負担になっていないかを振り返りながら、これからも日々療養指導に携わっていきたいと思います。

◆編集後記 急に涼しくなり体調を壊してはいませんか。糖尿病教育看護学会が今年が高松で開催されます。みんなで全国の仲間を歓迎しましょう。充実した会になりますように。木村裕美・串田久美

発行所 香川県糖尿病療養指導士看護ネットワークの会

http://www.anokai.org